

## 事務事業マネージメントシート

作成日 令和2年05月12日

事務事業名	小学校環境緑化事業				担当	教育委員会 学校教育課 施設係					
政策名	B 学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				増補版施策名						
施策名	2 小・中学校の教育の充実				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業						
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					
法令根拠	学校教育法第5条					<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S29 年度～)					
予算科目	1.一般会計	10.教育費	2.小学校費	1.学校管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 年度～ 年度)					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内14小学校環境緑化のための原材料の購入。</li> <li>・各学校の希望により必要に応じ購入する。</li> <li>・学校間環境緑化コンクールに毎年数校参加し優秀賞等を受賞している。</li> <li>・環境美化功労者(団体)の感謝状贈呈について毎年(小・中学校の中から1～2校)受賞している。</li> </ul>										

### 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 31年度実績 ・環境緑化用原材料(木材、塗料等購入、花壇設置) ・除草剤、毛虫駆除用薬の購入	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
2年度計画 前年度と同じ	ア : 原材料購入額	千円	1,549	1,122	1,402	991	1,670
	イ						
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内小学校	ウ						
	エ						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 緑豊かな学校環境とする	オ						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 良好な教育環境	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア : 小学校数	校	18	18	14	14	14
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						
	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア : 緑化コンクール等で受賞した学校数	校	0	0	1	0	1
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						
	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア : 緑化コンクール等に受賞した学校数の累計	校	38	38	39	39	40
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						

(2) 総事業費の推移			単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投 入 量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支払金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	1,549	1,122	1,402	991
			事業費計(A)	千円	1,549	1,122	1,402	991
人 件 費	正規職員従事人數	人		4	3	3	4	3
	延べ業務時間	時間		75	64	84	66	66
	人件費計(B)	千円		311	266	350	267	267
トータルコスト(A)+(B)			千円	1,860	1,388	1,752	1,258	1,937

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	学校の環境緑化のために始めた。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	以前から地域・PTAの協力を得て、学校緑化に努めている。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市勢発展長期計画にある、学校環境の整備等に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 良好な教育環境を整備することは、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 学校施設の環境緑化が目的であり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 各学校で計画的に環境美化に取り組んでいる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 学校の環境美化が图れない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 原材料費等の購入費用であり、必要最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 原材料費等の支払い事務のみである。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 学校教育法第5条の規程により、受益者が負担するものではない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画)	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か?それをどう克服していくか?		

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(從来通りで特に改革改善をしない)	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		